



press release

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

## 特集 AI と社会

### 「月刊 Journalism」7月号発売!

株式会社朝日新聞社（代表取締役社長：渡辺雅隆）が発行する「月刊 Journalism」の2018年7月号が7月10日に発売となりました。特集は「人工知能が生み出すのは監視社会か、理想郷か…… AI と社会」です。また、財務事務次官のセクハラ問題についての座談会も掲載しています。

経営コンサルタントの小林啓倫さんは、今回のAIブームが経済活動のデジタル化と情報処理の高度化という二つのベクトルで進んでいると指摘、将来起こりうるリスクについて検討しています。朝日新聞科学医療部の田中郁也記者はAIの技術革新を分かりやすく解説。憲法学者で慶應義塾大学教授の山本龍彦さんはEUの一般データ保護規則（GDPR）に注目、中期的な視野に立てばGDPRの要請を経済的チャンスと捉え、個人の主体性の実現に軸足を置くべきだと論じました。

中国に詳しいジャーナリストの高口康太さんはAI化が急速に進む中国を、在英ジャーナリストの小林恭子さんは大量情報時代に警戒感を強める欧州の状況をレポートしています。AI研究の第一人者である東京大学特任准教授の松尾豊さんはインタビューで日本の現状をざっくりと語っています。

セクハラ座談会では、ジャーナリストの青木理さん、ジャパントイムズ編集局長の大門小百合さん、弁護士の角田由紀子さん、一橋大学教授の中北浩爾さんが、メディア企業のセクハラ意識の問題点や、取材のあり方、記者の守り方などを縦横無尽に議論しています。

「月刊 Journalism」は2008年10月、研究誌をリニューアルする形で創刊。「フェイクニュースとネット言論」（17年11月号）、「過労死しないために」（18年5月号）、「官僚は再生できるか」（同6月号）などさまざまな問題にジャーナリズムの観点から切り込んでいます。定価800円（税込み）、年間購読料は8800円（税・送料込み）。全国の書店、ネット書店、ASA（朝日新聞販売所）で注文によってお求めいただけます。



&gt;

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 ジャーナリスト学校  
TEL 03-3545-0131(代表)